



图说

象棋攻防战术

攻

王国栋 方士庆 李燕贵 编著

炮

馬

兵

仕



金盾出版社
JINDUN CHUBANSHE



图说

象棋攻防战术



王树明 王树明 王树明 王树明



北京出版集团公司
北京出版社



大众象棋丛书

图说象棋攻防战术

王国栋 方士庆 李燕贵 编著

金盾出版社

内 容 提 要

本书由北京棋院三位著名教练编著,是他们长期教学经验的科学总结,是本版图书《大众象棋丛书》的第二本教材。本书分为五章三十二节,以图文结合的形式,系统介绍象棋中局战斗的攻防理论、攻防思路、攻防手段、攻防特点以及特定局面下的攻防技艺等,并从全国棋赛中精选 274 个局例分门别类予以说明。

本书内容丰富,通俗易懂,具有较强的知识性、实用性、趣味性,是广大农村和城市象棋爱好者自学成才的良师益友,是象棋培训的好教材。

图书在版编目(CIP)数据

图说象棋攻防战术/王国栋,方士庆,李燕贵编著. —北京:金盾出版社,2007.9

(大众象棋丛书)

ISBN 978-7-5082-4643-7

I. 图… II. ①王…②方…③李… III. 中国象棋-对局(棋类运动)-图解 IV. G891.2-64

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 091946 号

金盾出版社出版、总发行

北京太平路 5 号(地铁万寿路站往南)

邮政编码:100036 电话:68214039 83219215

传真:68276683 网址:www.jdcbs.cn

封面印刷:北京精彩雅恒印刷有限公司

正文印刷:北京金盾印刷厂

装订:蓝迪彩色印务有限公司

各地新华书店经销

开本:850×1168 1/32 印张:13.25 字数:344 千字

2007 年 9 月第 1 版第 1 次印刷

印数:1—11000 册 定价:24.00 元

(凡购买金盾出版社的图书,如有缺页、
倒页、脱页者,本社发行部负责调换)

前 言

《图说象棋攻防战术》是面向广大农村和城市读者的《大众象棋丛书》的第二册。

在第一册《图说象棋基本战术》中,我们用三章三十八节,介绍了象棋启蒙知识和初级阶段的各种基本战术。在第二册中,我们仍然沿用第一册的写作手法,用图文并茂的方式,分五章三十二节,向读者系统地介绍在象棋的中局战斗中,关于攻防理论、攻防思路、攻防手段、攻防特点以及特定局面下的攻防争斗等各种攻防知识。为使读者能够清晰地掌握所述内容,我们从浩如烟海的实战中选用了 274 个战例,分门别类地加以说明,希望能对提高读者的棋艺水平有所帮助。

书中所举战例,大部分来源于我们在培训班中的授课教材,并参考和借鉴了《棋艺》(王嘉良主编)等专著。由于我们水平有限,书中所述理论,挂一漏万和不妥之处在所难免,尚望棋界同好和爱好者不吝指正,以便将来再版时加以修订。

本书在编写过程中,得到了金盾出版社本书责编的全面帮助,特表示衷心感谢。

作 者

2007 年 1 月

目 录

第一章 攻防理论	(1)
第一节 局面解析 审局度势	(1)
一、抢攻在前	(1)
二、兑换要子	(2)
三、占位优势	(4)
四、发现缺陷	(5)
五、控制大势	(6)
六、多子局面的防守——兑子	(8)
七、化解攻势	(9)
八、打破封锁	(10)
第二节 深思熟虑 战术实施	(11)
一、巧攻侧翼	(12)
二、打击弱点	(13)
三、控制窝心马	(15)
四、弃子搏杀	(16)
五、渡过难关	(18)
六、兑掉防守要子	(19)
七、化繁为简	(20)
八、扬长避短	(22)
第三节 着法应对 谨慎小心	(23)
一、解决弊端	(24)
二、攻击次序	(25)
三、全力回防	(26)
四、速战速决	(28)

五、调兵遣将	(29)
六、左右开弓	(30)
七、先弃后取	(32)
八、防守思路	(33)
第四节 计算能力 深度较量	(35)
一、巧施空城	(35)
二、少算不胜	(36)
三、一气呵成	(38)
四、收之桑榆	(39)
五、计算错误	(41)
六、算度深浅的差异	(42)
七、捕捉战机	(43)
八、攻杀计算	(45)
第五节 总结经验 以利再战	(46)
一、错误决策	(47)
二、临杀勿急	(48)
三、棋错一着	(49)
四、不够警觉	(51)
五、贪吃中计	(52)
六、着法失误	(54)
七、兑子的方法	(55)
八、思路脱节	(56)
第二章 攻防思路	(59)
第一节 攻击方向	(59)
一、中路强攻	(59)
二、钳形攻势	(61)
三、攻窝心马	(62)
四、正确路线	(64)
五、攻势连绵	(65)

六、方向准确·····	(66)
七、炮攻背面·····	(67)
八、缺相怕炮·····	(69)
第二节 攻防策略 ·····	(70)
一、扩先之策·····	(71)
二、速战之策·····	(72)
三、防守之策·····	(74)
四、多子之策·····	(75)
五、保子之策·····	(77)
六、谋卒之策·····	(78)
七、进取之策·····	(79)
八、攻守平衡之策·····	(80)
第三节 攻防转换 ·····	(82)
一、攻中有守·····	(82)
二、守中有攻·····	(84)
三、先防后攻·····	(85)
四、防守待机·····	(87)
五、掌握分寸·····	(89)
六、防守得法·····	(90)
七、引君入瓮·····	(91)
八、顺水推舟·····	(93)
第四节 明察秋毫 ·····	(94)
一、临门一脚·····	(94)
二、避免抢先·····	(96)
三、习惯思路·····	(97)
四、试探应手·····	(98)
五、料敌于先·····	(99)
六、洞悉意图·····	(101)
七、创造条件·····	(102)

八、巧妙腾挪	(104)
第五节 侧翼攻势	(105)
一、典型攻杀	(106)
二、弃子攻杀	(107)
三、兑子攻杀	(108)
四、妙手攻杀	(109)
五、破卫攻杀	(111)
六、击弱攻杀	(112)
七、顿挫攻杀	(114)
八、联合攻杀	(115)
第三章 攻防手段	(117)
第一节 运子	(117)
一、运子取势	(117)
二、运子有方	(119)
三、运子转移	(120)
四、运子途径	(121)
五、运子攻杀	(122)
六、运子妙手	(124)
七、运子次序	(125)
八、运子集结	(127)
第二节 兑子	(128)
一、兑子获利	(129)
二、兑子抢先	(130)
三、兑子技巧	(131)
四、兑子夺势	(133)
五、兑子谋势	(134)
六、兑子解围	(136)
七、兑子简化局面	(137)
八、兑换要子	(139)

第三节 弃子	(140)
一、弃子取势	(140)
二、弃子击虚	(141)
三、弃子谋攻	(142)
四、弃子搏杀	(144)
五、弃子解围	(145)
六、弃兵脱困	(146)
七、弃车攻杀	(147)
八、先弃后取	(149)
第四节 困子 谋子	(150)
一、困炮夺势	(150)
二、困马谋兵	(151)
三、困子扩先	(152)
四、谋子争势	(154)
五、谋子妙法	(155)
六、谋子之后	(156)
第五节 牵制 控制	(157)
一、牵制建功	(158)
二、牵制扩先	(159)
三、牵制制胜	(161)
四、控制大势	(162)
五、控制空间	(164)
六、巧着控制	(165)
七、控制出路	(166)
八、全局控制	(168)
第六节 封锁 堵塞	(169)
一、封锁主力	(170)
二、封其一翼	(171)
三、保持封锁	(173)

四、封住出路	(174)
五、断绝通道	(176)
六、堵塞要子	(177)
七、堵塞待机	(178)
八、精妙封堵	(180)
第七节 破卫	(181)
一、破土攻杀(一)	(181)
二、破土攻杀(二)	(183)
三、砸土扩先	(185)
四、破土追杀	(186)
五、破相攻杀	(187)
六、弃子轰相	(189)
七、搏相谋兵	(190)
八、兑子赚象	(191)
第八节 闪击	(192)
一、闪击夺先	(193)
二、闪击运子	(194)
三、闪击突破	(195)
四、闪击牵制	(196)
五、闪击谋子	(197)
六、闪击求攻	(199)
七、闪击占位	(200)
八、闪击得利	(201)
第九节 引离(引入)	(202)
一、引离通道	(203)
二、引离攻杀	(204)
三、引离要子	(205)
四、引离解困	(207)
五、引入争先	(208)

六、引入陷阱	(209)
七、引入谋攻	(210)
八、引入夺势	(212)
第十节 其他	(213)
一、阻隔(一)	(213)
二、阻隔(二)	(215)
三、追击(一)	(217)
四、追击(二)	(218)
五、追击(三)	(220)
六、简化(一)	(221)
七、简化(二)	(222)
八、拴链(一)	(223)
九、拴链(二)	(225)
十、顿挫(一)	(226)
十一、顿挫(二)	(228)
十二、围困(一)	(230)
十三、围困(二)	(231)
十四、围困(三)	(232)
十五、综合(一)	(234)
十六、综合(二)	(236)
十七、综合(三)	(237)
十八、综合(四)	(238)
第四章 特定局面的攻防技艺	(241)
第一节 互缠局面的争斗	(241)
一、互缠争先	(241)
二、寻找头绪	(243)
三、攻敌要害	(244)
四、方向正确	(245)
五、调整阵型	(247)

六、拴链缠斗	(249)
七、错进错出	(250)
八、保持多子	(252)
九、舍子夺势	(253)
十、化险为夷	(254)
第二节 对攻局面的争斗	(256)
一、对攻速度	(256)
二、捷足先登	(258)
三、攻守俱佳	(259)
四、速度奇快	(261)
五、既定方针	(262)
六、防守反击	(264)
七、精彩运筹	(265)
八、准确攻击	(267)
九、攻杀思路	(268)
十、时不我待	(270)
第三节 平稳局面的争斗	(272)
一、平淡妙手	(272)
二、空间控制	(273)
三、一着多用	(275)
四、谋兵之策	(276)
五、集腋成裘	(278)
六、发扬长处	(279)
七、调型待机	(281)
八、虚浮之误	(282)
九、兵卒之争	(284)
十、综合运用	(286)
第四节 相持局面的争斗	(287)
一、灵活运子	(287)

二、两度弃卒	(289)
三、制造争端	(290)
四、抢占好位	(292)
五、突破防守	(294)
六、占据要路	(295)
七、攻势如潮	(297)
八、兑子争先	(299)
九、攻势为重	(301)
十、创造条件	(303)
第五节 繁复局面的争斗	(305)
一、攻防转换	(305)
二、摆脱牵制	(307)
三、中路攻势	(308)
四、打开局面	(310)
五、紧追不舍	(311)
六、攻杀妙着	(312)
七、缠斗得利	(314)
八、朴实构思	(315)
九、兑子谋势	(317)
十、老练收官	(319)
第五章 攻防特点	(321)
第一节 唯一法则	(321)
一、攻势为上	(321)
二、先防一手	(323)
三、妙手解围	(325)
四、全力防守	(326)
五、攻击软肋	(328)
六、保持多子	(330)
七、妙手冲卒	(331)

八、目标明确	(333)
第二节 隐蔽法则	(335)
一、进攻思路	(335)
二、冷箭突发	(336)
三、虚实相映	(338)
四、假戏真做	(340)
五、多种目的	(341)
六、大智若愚	(344)
七、围魏救赵	(345)
八、真实目的	(346)
第三节 失误比例	(348)
一、痛失好局	(348)
二、计算不周	(350)
三、一误再误	(351)
四、错失机会	(353)
五、次序有误	(354)
六、作茧自缚	(356)
七、意图未明	(357)
八、方向有误	(359)
第四节 准备工作	(361)
一、必要准备	(361)
二、禁锢要子	(363)
三、注重次序	(364)
四、延缓攻势	(366)
五、牵炮伏攻	(367)
六、预作埋伏	(369)
七、攻敌要穴	(370)
八、重要伏兵	(372)
第五节 关键时刻	(373)

一、连续打击	(373)
二、攻守要着	(375)
三、突破防线	(376)
四、巧渡难关	(378)
五、手段高明	(379)
六、主要缺陷	(381)
七、制胜着法	(383)
八、关键一着	(384)
第六节 攻防禁忌	(386)
一、孤马出群	(386)
二、似先实后	(387)
三、得子失先	(389)
四、贪胜忘危	(390)
五、贪吃之戒	(392)
六、误入陷阱	(393)
七、功败垂成	(395)
八、循序渐进	(397)
第七节 把握机遇	(399)
一、子势转化	(399)
二、抉择两难	(400)
三、扬长避短	(402)
四、得相占先	(403)
五、战前准备	(405)
六、攻击得体	(406)
七、机不可失	(408)
八、计中有计	(409)

第一章 攻防理论

在象棋对弈的全局过程中,各个阶段是相辅相成、不可分割的一个整体。布局阶段的行兵布阵犹如打好万丈高楼的根基,残局阶段胜、负、和的归属则应该是秋天的收获季节。而中局阶段的攻防战术,无疑是战斗的亮点,戏剧的高潮,是最能体现棋手水平高低的考试。因此,提高中局的作战能力,是每个象棋爱好者必修的课题。而中局阶段的攻防战术,又是非常难以仿照、复制的。必须要掌握攻防理论,明了中局战斗的真谛,能够娴熟地运用各种技艺和战术,悟出每步棋着的内在联系,由自然王国的思维升华到必然王国的思维,才能在棋战中运用自如,无往而不胜。

象棋中局的攻防理论,是对棋理的总结,对棋局的中局作战有指导意义,可以使象棋爱好者提高实战能力,起到举一反三的作用。

第一节 局面解析 审局度势

当棋局进行到一定程度,已无章可循时,即是中局战斗的开始。棋手此时都会对棋局有一定的分析和认识,但正确与否,则是棋局发展的分水岭。阳关道与独木桥同在,只是因人而异。选择道路的不同,会使棋局发展各异。因此,正确进行局面解析,找出当务之急,使棋局顺利地朝己方有利的方向发展,则是每一位棋手应当学会并熟练使用的技能。

一、抢攻在前

如图1,选自全国赛中的实战对局,现红方行棋。

双方虽然战斗子力相等,但由于各子所处的位置不同,实际体